

One for all, All for one

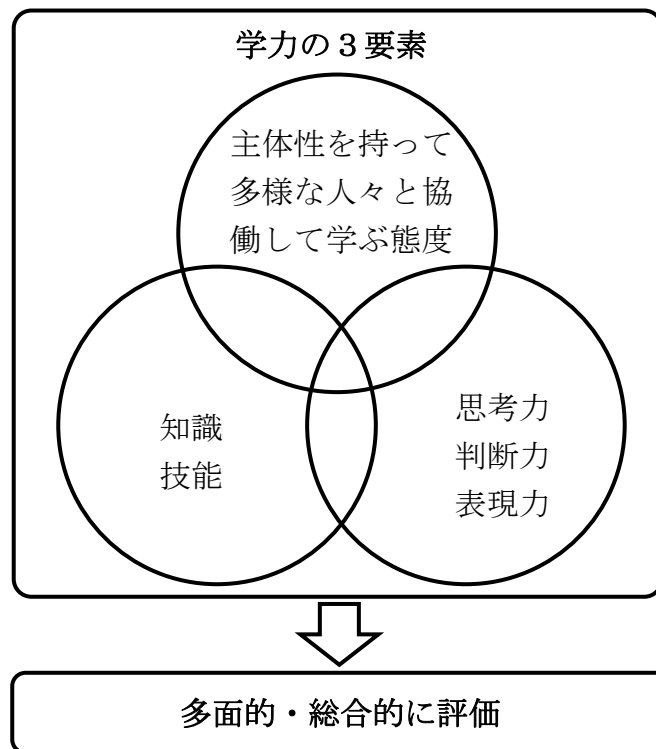
今年は立冬が過ぎても、冬の近づきを感じさせない日々が続いていますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。秋は「食欲の秋」ともよく言われます。おいしい物をいっぱい食べて、健全な身体をつくり、心身のバランスを保っていききたいものですね。

さて、後期中間考査まで1週間を切りました。この時期は、考査に向けて、様々な情報が入ってきます。手に入れた情報を生かすかどうかは、その後の行動しだいといっても過言ではありません。得た情報を基に子供たちがしっかりと学習に向き合い、最善の結果を手に入れられるよう、1学年では環境整備に努めていきますので、ご家庭からのご支援もよろしくお願いいたします。

【大学入試制度改革について】

現在の高校1年生が3年生になる2020年度から、大学入学者選抜が大きく見直されます。今まで実施されていた大学入試センター試験は2020年1月の実施を最後に廃止され、2021年1月から「大学入学共通テスト」が導入されます。また、本校生徒の多くが利用している入試区分「AO入試」と「推薦入試」についても、「大学入学共通テスト」と同様の評価の観点から実施されます。そこで1年生はどういう視点で準備を進めていけばいいのか、こちらも手探りの状態ではありますが、今後数回に渡って、大学入試に関わる情報をご紹介しますと思います。

第1回目の今回は、「学力の3要素」についてです。これまでの大学入試センター試験では、「学力の3要素」のうち、「知識・技能」を中心とした評価を行ってきました。「知識・技能」＝「基礎学力」であり、高等学校で3年間学んできた基礎学力を見るためです。しかし、2020年度からは、「学力の3要素」を多面的・総合的に評価と言われていています。では、「知識・技能」以外に何を評価されるのか。それは、「思考力・判断力・表現力」と「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」です。「思考力・判断力・表現力」は、学んだ基礎学力を基に様々な問題解決のためにどう活用するのかといった「応用力」になります。また、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」は、「主体性・多様性・協働性」です。学生時代に「目の前に問題があるから答えを出す」という短絡的な思考を繰り返していると、思考力はおろか、学力を含めた生きる力をつけることは難しいと考えられています。さらには、言われたことしかできない大人、答えのない問題を解決することができない大人になる可能性が高まります。社会に出ると、答えのない問題に遭遇することの方が圧倒的に多いです。そういう意味では、大学入試制度改革は我々高等学校に対して「受け身の学習だけでは足りない」ということを示唆しているのかもしれないですね。



大学入試制度改革のイメージ図

【第2回実用英語検定の結果について】

11月13日(火)に第2回実用英語検定の合格発表がありました。1学年の子供たちは12名が3級に挑戦し、8名が見事、合格を勝ち取りました。1年生で3級に合格できたということは、今後2級や準2級に挑戦したり、各種検定に挑戦したりと、無限大の可能性を秘めています。また、来年1月には、第3回の実用英語検定が実施されます。1学年では1人でも多くの子供が検定・資格に挑戦し、全員が一発合格できるよう、日々の授業や放課後の時間を活用して、支援していきます。なお、今回合格した子供たちの合格体験記を一部ご紹介します。是非、最後までお読みいただき、検定・資格に挑戦するというものに対する皆さまのイメージを膨らませてください。

♪ 合格体験記①：T・Aさん

一次試験は練習とさほど変わらず、落ち着いて出来ました。リスニングの問題は選択問題だったのであまり苦労はしませんでした。作文は自分で文を考える上に単語もある程度知っておかないといけなかったので苦労しました。レベルは練習とさほど変わらないので練習を真面目に受けて本番も落ち着いて行えば問題ないと思います。二次試験は面接で、面接官と一対一で話をしました。質問もそれほど難しいことは聞かれず、そこはスムーズに答えられました。自然な会話の中での聞き返しは減点とされないそうなのでなるべく自然を心掛けました。

♪ 合格体験記②：K・Kさん

一次試験は、中学校時代に英語をあまり真剣に勉強してこなかったのが不安でした。しかし、英語科の櫻田先生が、一次試験の対策として勉強を熱心に教えてくれました。その結果、ギリギリで合格できました。二次試験は一次試験合格者の中、1番危機的状況で、半ば自分も諦めていました。しかし、櫻田先生や吉田先生、浅野先生が時間を作って指導してくれたため、これは受かんないや絶対にダメだと思いました。本番は、自分が知らない人の前で喋るのが苦手、本番に弱いという事もあり練習の成果を発揮できているのかも分からない状態で試験監督の質問に答えていました。終わった後に「絶対落ちた、どうしよう…」と考えていましたが、無事に二次試験も合格する事が出来ました。今回の合格を糧にして、これからも漢検や数検などに取り組んでいきたいと思っています。

【インフルエンザと診断されたら…】

今年もインフルエンザが心配な季節になってきました。予防注射をされた方も増えていると思います。さて、インフルエンザに罹患した場合は、学校保健安全法に基づき、集団感染を予防するためにも、自宅で加療していただくことになります。「出席停止の扱い」となりますので、インフルエンザの症状が軽快になったからと自己判断で出校せず、必ず主治医の指示に従ってから出校を開始してください。また、お子さんが出校する際は、「受診報告書」を担任を通じて保健室までご提出いただくことになります。受診した医療機関の領収書または、調剤報酬明細書等のコピーを添付していただきますので、ご協力をお願いいたします。なお、インフルエンザ以外にも出席停止扱いとなる疾病がいくつかあります。何かご不明な点がございましたら、学校までご連絡ください。



「高熱」で全身倦怠感が見られるので速やかに病院に行ってください・・・

※ 26日(月)からは後期中間考査が始まります。週末3連休を有意義にお過ごしください。